

授業科目名	【G】 国際法Ⅱ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】 国際法Ⅱ	選 択		【EF】3		【EF】2
科目区分	専門科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(---公民---)/【EF】-					
授業形態	対面授業					
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(---公民選択---)科目 【EF】 -				
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)」(高一種免公民)					
サブタイトル	国際法上の諸制度			担当者	青木 隆	
授業概要	【概要】	『国際法Ⅰ』において学ぶ国際法の基本を踏まえて、個別の分野、大別して(a)場所について、(b)人について、(c)武力の規制および他の分野に関する国際法の諸規則を解説します。具体的には、下記の各項目についての講義と質疑応答を行います。講義内容は、これが解っていれば日本の大学法学部生としてどこに行っても恥ずかしくない水準を保ちたいと考えています。				
	【到達目標】	講義項目の各論から知識を得たうえで、国際法上の制度の発展や特質について一般的な理解を深める。「国際法とはどのようなものか」について漠然とでもイメージをもち、自身で「何が分からないか(=何を調べれば良いか)」が判る状態になる。				
履修条件	「国際法Ⅰ」をすでに履修した(かまたは並行して履修する)ことを希望します。					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)				
他科目との関連性	「国際組織法Ⅰ」及び「Ⅱ」の履修に必須の内容を含みます。 「国際法Ⅰ」とともに履修することを勧めます。					
教科書	特定の書籍は指定しません。体系は、杉原ほか『現代国際法講義』(有斐閣)に準拠します。					
参考書	『国際条約集』等を活用して、条約文(下記内容欄に《...》で示したものを教室において参照できると講義の理解が深まるはずですが、その他の文献と資料に関する情報については初回の講義で解説します。					
評価方法	原則として筆記試験(自筆ノート、配付資料及び条文のみ持ち込み可)の成績により単位認定および成績評価を行います(100%)が、受講態度(100点満点で10点まで)も加味する場合があります。					
フィードバック方法	質問は随時受け付け、可能な限り速やかに回答します。試験またはレポートについては、模範的な解答例を表示します					
評価基準	試験において講義内容を理解していることを示したと認められる答案には「A」(うち特に優れたものには「S」)、理解や表現に不足があるものはその程度に応じて「B」または「C」、設問または講義内容の理解が著しく劣るものはその程度に応じて「D」または「E」(ともに不合格)とし、これに受講態度(質問票への記述の量および質(試験の評価基準に準じる。))に基づく。)を加味して受講者の評点とします。(未受験は「F」。)					
その他	講義の進度は、受講者の理解度や希望を勘案して調整しますので、場合により『国際法Ⅱ』または『国際組織法』に送られる項目があり得ることをご了承下さい。					

授業科目名	【G】	国際法Ⅱ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	国際法Ⅱ	選 択		【EF】3		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	序:講義の概要、文献紹介、教室規則の決定など						
	予習:	このシラバスを通読して疑問点を探す。(90分)		復習:	疑問が解消されたか検討する。(90分)		
2	国際法の形式的法源、国家管轄権の配分と作用、空間的秩序の概要						
	予習:	ICJ規程38条、刑法第1～5条の通読。(90分)		復習:	「場」と「人」の規則を理解する。(90分)		
3	領土とその変動						
	予習:	領域の意味を確認する。(90分)		復習:	領土紛争の解決を理解する。(90分)		
4	日本の領土《対日平和条約》						
	予習:	上記条約第2章の通読。(90分)		復習:	日本の領土の変化を理解する。(90分)		
5	南極大陸の法制度《南極条約》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	南極の制度を把握する。(90分)		
6	海洋 その1 国の安全と秩序《国連海洋法条約 第2～4部》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	海域設定と通航権を把握する。(90分)		
7	海洋 その2 海洋資源の保存と管理《国連海洋法条約 第5、6部》						
	予習:	上記条約第5部の通読。(90分)		復習:	経済水域制度を把握する。(90分)		
8	海洋 その3 海底資源の開発《国連海洋法条約 第6部、第11部第1～3節》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	大陸棚と深海底の制度を理解する。(90分)		
9	空と国際航空制度《国際民間航空条約》						
	予習:	上記条約第1～3章の通読。(90分)		復習:	領空の飛行制度を理解する。(90分)		
10	宇宙《宇宙条約》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	宇宙法制度の概要を理解する。(90分)		
11	人権の国際的保護《世界人権宣言》						
	予習:	上記文書の通読。(90分)		復習:	国連の人権への取り組みを理解する。(90分)		
12	人権の国際的保護《国際人権規約》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	実施措置の多様性を理解する。(90分)		
13	地球規模の諸問題《オゾン層保護条約》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	「枠組条約」を理解する。(90分)		
14	地球規模の諸問題《地球温暖化防止条約》						
	予習:	上記条約の通読。(90分)		復習:	COP、不遵守手続を理解する。(90分)		
15	まとめ						
	予習:	ノートを通読し、疑問点を探す。(90分)		復習:	講義の全体像を把握し、目標到達を確認する。(90分)		

科目コード B621-2-X